

キャリア教育企画「まるっと一く in 大江」実施報告

実施概要

日程	2016年12月15日(木)～16日(金)		
場所	京都府立大江高等学校・大江町総合会館(福知山市大江町)		
内容	日常にある歴史と文化 大江がもっと好きになるように		
主催	京都高大連携研究協議会(京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都府私立中学高等学校連合会、京都商工会議所、公益財団法人大学コンソーシアム京都)		
協力	大江まちづくり住民協議会		
		12/15	
		12/16	
参加者	大学生	10人(大谷大学、京都女子大学、花園大学、立命館大学、近畿大学、阪南大学、神戸大学)	
	大江高校	高校生29人(1年生8人、2年生5人、3年生16人)、教員4人	
	地域の方	7人	8人
		大江まちづくり住民協議会、大江観光(株)、大江元気プロジェクト、大江地域観光案内倶楽部、京都北都信用金庫	

実施報告

12/15・16に、大江高校生と地域の方と大学生が交流する「まるっと一く in 大江」を実施しました。

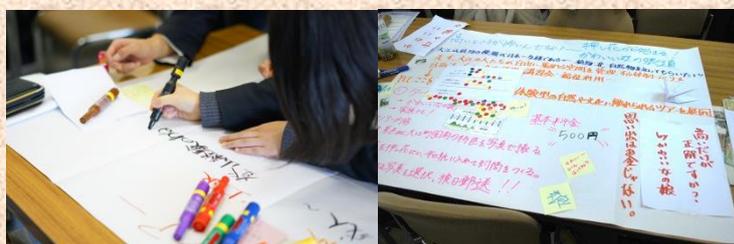
交流企画としてまず最初に、大江高校において、大江高校生による RESAS(地域経済分析システム)を活用して取りくんだ「地方創生☆政策アイデアコンテスト」の活動報告や、「TANTAN 見本市」について、習得したビジネスマナーの実演を交えて紹介がありました。大学生からは、その取り組みに対する感想やプレゼンテーションのフィードバックを行いました。



会場を大江町総合会館へ移して、地域社会人と交流をしました。そこでは、翌日の「大江おみやげづくりワークショップ」で、どんな情報提供や問いかけをすることが高校生にとって充実した取り組みとなるのか、について話しあい、大学生と地域社会人との協力体制をつくりました。

2日目は、大江町総合会館で三者が交流する形で始まりました。最初に、高校生と地域社会人が話せる雰囲気になるようアイスブレイクを行いました。「ペーパータワー」では、お互いが積み上げに協力しチームの結束力をたかめました。普段、高校生と地域社会人が話をする機会が少ないと考え、インタビュー形式で、大江地域や地域の方の想いを知ったり、午後からのワークに向けたヒントを得たりしました。

昼食後は、「大江おみやげづくりワークショップ」を行いました。お土産にとどまらず、大江の鬼にちなんで節分イベントやフォトツアーなど多彩なアイデアが出され、大江地域の良いもの・無いもの・ほしいものなどについてグループで話し合いました。高校生がグループの創作おみやげの発表をしたあと、ギャラリーウォーク法で他のグループのお土産を「ユーモア! おもしろい」「発想がうまい、アイデアが独特!」「これは買いたい! 売れそう!」の項目で投票しました。もしかすると、すぐにでも実現できるものがあるかもしれません。



高校生からは、普段は家と高校の往復で、「大江」について知らないことに気が付いたなどの感想があったり、また、地域社会人からは、若い世代と話ができ発想の豊かさを感じたとの感

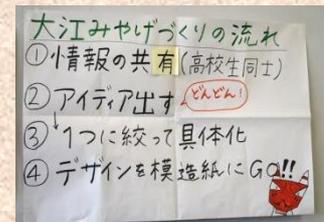
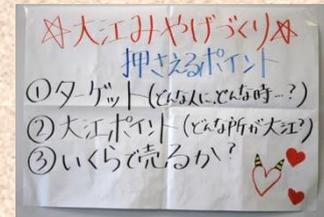
想をいただきました。大学生の中には、地域社会人と交流して「地域に情熱のあるそんな大人になりたい」と印象的な感想がありました。

地域の方については、平日の忙しい時間にもかかわらず協力的に参加いただき、若者と和気藹々とした雰囲気の中でワークを行い、とても充実した様子が窺えました。

企画タイムスケジュール

- 12/15(木) 9:00 JR 京都駅◆集合・出発
11:45 大江高校到着◆大学生チームミーティング・交流準備
13:30 高校生×大学生 交流企画(大江高校)
16:00 地域社会人×大学生 交流会(大江町総合会館)
18:30 宿泊地到着◆夕食・入浴・翌日の企画づくり
12/16(金) 9:30 ◆企画スタート◆オリエンテーション・アイスブレイク
12:00 昼食
13:00 グループで創作ワーク(大江みやげづくり)
15:00 ◆企画終了◆撤収・振り返り
18:08 JR 京都駅◆到着・解散

※12/27 事後の大学生の振り返り会



<2016年度のまるっとー実施校>

9/29・30 京都府立網野高校、10/14・15 京都府立須知高校

11/11・12 京都府立久美浜高校、12/15・16 京都府立大江高校 の4校